

第1回 沼津市総合計画審議会 会議の概要

日時：令和元年7月23日(火) 14:00～15:30

場所：沼津市民文化センター 第1練習室

資料：次第、資料1～5

○委員委嘱式

全体会議（第1回）に先立ち、会議出席者23名に委員委嘱状を市長より交付。

○全体会議（第1回）

1 開会

2 沼津市総合計画審議会会長の互選

中山委員より小泉委員が会長に推薦され異議なく選任される。

3 会長職務代理者の指名

小泉会長より、榊原委員（沼津市自治会連合会 会長）が指名される。

4 第5次沼津市総合計画基本構想の諮問

市長より、第5次沼津市総合計画基本構想について、本審議会に対し意見を求められる。

5 沼津市の現状課題等説明

事務局より、資料1～4について説明。

6 委員から一言

意見の概要は以下のとおり。

- ・全国の事例も見の中で、沼津駅前の空間づくりや産業振興を考えていく上で、男性や女性のどの年代が減っているかなどの詳細なデータが分かれば、もっと具体的方向性を示せると思う。
- ・少子高齢化社会において、市民の福祉については主要な課題と考えている。
- ・元気な高齢者が増えており、体育館ができるのは明るい話題である。少子化で少年団や指導者の減少が懸念されている。
- ・文化事業が減り芸術祭と施設管理だけとなっており、このままでは文化の灯が消えてしまう。駅周辺の整備や空き店舗対策を言っているが、消費者のネット通販や大型店などの使い分けにより地域の商店が減ってきている。こんなまちでは安心して暮らせないし、つぶれてしまう。
- ・高架は短期間で進め、実現できるというイメージを打ち出したい。収用の動きにより駅周辺への投資も産まれているので、将来に向かって生きたまちにしたい。総合計画は沼津らしいものとし、こうすることで人が増えたと見えるものにしたい。
- ・鉄道高架を早く進めないとドーナツ化現象を防げないと思う。
- ・新貨物駅の用地取得を終えて早く鉄道高架に着手してほしい。西部地区は貨物ターミナルや沼川新放水路で動き出すため、道の駅整備も進めていきたい。
- ・農業人口は高齢化率が高いが、新ブランドなども作成しはじめた。生産者を応援するまちづくりを期待する。東部の中心駅としての沼津駅の設備はひどすぎるので、まちの玄関口として綺麗にしたい。
- ・働き方改革は企業側には負担が増える部分もある。外からの企業誘致だけでなく、地域の経済は地域の

人が起業して活性化していくことが大事である。起業者をどのような支援していくが必要である。

- ・障害を持つ子の親がいなくなったときの生活が心配。親がいなくても安心して暮らせるようにしたい。金メダリスト養成もよいが、障害者がスポーツをいつでもできる環境づくり、そしてスポーツと文化の振興を進めたい。
 - ・総合計画は各市町が作っており総花的になるのはやむを得ないが、沼津市独自の施策や、やりたいことが盛り込まれたら良いと思う。
 - ・北部地域に住んでいるが、移動が大変なので、市街地に来られるようにするために、公共交通の充実が大事だと思う。外部の人には沼津の新鮮な魚くらいしか認知されていないため、文化と歴史と食を合わせたまちづくりができれば良いと思う。
 - ・幼少期の子どもとのかかわりが大事で、孤独が大人になって連鎖してしまうのが怖い。子どもの声を聴くことが大切で、このためにも、働く人の環境を整えたい。
 - ・沼津の子育て支援は手厚いと思う。支援してもらって当然と思っている人が多いが、ママが自分でこれらを選びとり、自立して自分らしく生きられるようにしたい。
 - ・沼津は民間と連携し、こちらの声をよく聴いてくれるようになったと感じる。
 - ・日ロ交流などの文化振興や観光資源づくりに取り組んできたが、戸田は津波や防災面でも心配である。また、子どもが減って小中一貫校化も進んでいるが、外から地域に人を呼び込むことも考えていきたい。
 - ・これから人口減少するからこそ、総合計画は重要だと思う。沼津は他がやらないことを先行してやってきたので、この10年間でどうするのかは他市町にとっても参考になるのでは。
- 将来的にどうしたいかをまず出して、知恵を出し、これまでと違うやり方で組み立てることも必要である。その知恵として、市民の力をどう結集できるか、そして具体的な展開にどう繋げていけるかが大事である。

7 今後のスケジュール

資料5 参照

8 質疑応答

Q：資料は所属団体で共有しても構わないか。

A：資料と会議録はホームページ上にも公開するため、組織で共有して検討して頂いて構わない。

9 閉会